※令和３年度以前入学生用

学校番号	3032

令和５年度　芸術科（工芸）

教科	芸術	科目	工芸Ⅱ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「工芸Ⅱ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年生の授業では、１年次の授業を踏まえてさらに発展的な表現・技法について学習します。また、芸術系大学受験に向けての知識・技能だけでなく骨太な構想力・想像力を身に着けることを目標に各分野について色や形といった造形的な美しさや素材の美しさに加えて、使う用途・目的に即した形など『表現』についてもしっかりと学んでいきましょう。また、『鑑賞』を通して、作品の意図や工夫などを読みとり、自己の表現に生かしましょう。「色・形・材料」を用いて視覚的に表現すること学びます。制作全般を通して「綿密な下準備」「注意力（多くの道具を使うため）「色々なものをアイディアに取り込んでいく発想力」が大切です。１つの手作業から多くのことを見出して工夫しましょう。

２　学習の到達目標

工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め，創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:工芸への関心・意欲・態度	b:発想や構想の力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	工芸の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や工芸文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞に取り組もうとする。	身の回りにある自然を深く観察し、生活体験の中で感じ取ったことや考えたこと、用途と美しさの調和を考え、素材や表現の良さを生かした構想を練っている。	制作方法を理解し、工芸表現に必要な技能を身につけ、意図に応じて材料や用具を活用することができている。	作品の表現の工夫や素材の生かし方・技法などを理解し、そのよさや美しさ、生活や社会を豊かにする工芸の働きについて学び、言葉等を用いて表現することができている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート エスキース アイディアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	レポート 発言・発表内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期・後期【通年】	通年課題『クロッキー・ドローイング』	【描写】 ・クロッキーを通して身近なものを観察し、短時間でものを捉える力を養う。描く行為の習慣化に取り組む。 ・ドローイングを通して造形行為の習慣化・作品構想の能力を高める。 ■制作 ・身近にあるものや人物等を観察し、短時間で描く。 ・色や形、様々な素材を使ってドローイングを行う。 ■相互鑑賞	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○	a:身近にあるものを様々な角度から観察し，動きや形、ものの美しさや特徴を感じ取ろうとしている。主体的に活動に取り組もうとしている。 b: 観察から得た発想や発見を基に構想を練っている。 c：視覚的な効果を考え，構図や配色、素材等を工夫することができている。 d: 個々の作品から視点の面白さや発想・構想・意図を感じ取ることができている。	学習活動の様子 まとめシート 発表・鑑賞活動の様子や発言の内容
前期	『色彩理論と実践／ステンドガラスでの壁掛け・小箱つくり』	【ステンドガラス】 ■制作① ・4cm×4cmの正方形9つで構成される正方形の色面を考える。 ■制作② ・制作①を実際にステンドガラスを使用して、壁掛けを制作する。 ■制作③ ・同じ要領で小箱を制作する。色面は自由とする。 ■相互鑑賞	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○	a:色の三属性を理解し、色彩表現に関心をもち取り組んでいる。 b：トーンを効果的に用いて立体的に見せるよう構想を練っている。 c：視覚的な効果を考え，配色を工夫し効果的に表現できている。 d:よさや美しさ、作者の表現意図や工夫などを感じ取り、理解を深めている。 a:ガラスの持つ色彩や特徴に関心をもち取り組んでいる。 b：ガラスを効果的に用いて色彩構成構想を練っている。 c：視覚的な効果を考え，効果的に表現できている。 d:よさや美しさ、作者の表現意図や工夫などを感じ取り、理解を深めている。	制作の様子 制作途中作品 完成した作品 鑑賞活動の様子

※令和３年度以前入学生用

前期	『大型の陶芸作品制作』	【陶芸】 ■制作 ・紐作りで植木鉢や傘立て、土鍋といった大型の陶芸作品を制作する。 ■相互鑑賞・合評	○	○	○	○	a:何を制作するか計画を練り、興味関心を持って制作することができている。 b: 使用意図を踏まえたデザインの構想を練っている。 c：粘土の特性を生かして形状や模様を制作することができている。 d: 互いの作品を鑑賞しあい、根拠を基に意見交換できている。	制作の様子 制作途中作品 完成した作品 鑑賞活動の様子
前期	『鑑賞レポート』	【鑑賞】 展覧会鑑賞レポート:本物をじっくり味わい鑑賞しレポートにまとめる。	○			○	a:他者の作品を理解しようとしている d: 作者の意図や工夫を理解し、その感想を文章に表現する	レポート
後期	工芸『自由制作』	【工芸】 ■制作 ・それぞれに表現テーマを考え、自由に作品を制作する。 ■相互鑑賞・合評	○	○	○	○	a：テーマから着想し、形や色彩、素材を工夫し構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b：主題を生成し、各技法の特性、バランスや造形的面白さ等を考えて表現の構想を練っている。 c：主題に基づき個々の素材の特性を生かし、工夫して表現している。 d：互いの作品を鑑賞しあい、根拠を基に意見交換できている。	制作の様子 制作途中作品 完成した作品 鑑賞活動の様子
後期	『個別課題制作』	【工芸】 ■制作 ・それぞれの受験等に応じて設定した課題の制作を行う。	○	○	○		a：個別の課題について目標を持って前向きに取り組もうとしている。 b：各課題について創意に富んだ構想を練れている。 c：各課題について素材の特性を生かし、技術を習得し、高めることができている。	制作の様子 制作途中作品 完成した作品

※　表中の観点について　a:工芸の関心・意欲・態度　　b:発想や構想の力
　　c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。